

見学会報告  
iZoo と KawaZoo 見学会  
山本幸介



白輪園長の説明を聞きながら見学

静岡市街地から車で2時間余り。今回はNPOの観察会・見学会の中では久しぶりに遠方まで足を運んで賀茂郡河津町にあるiZooとKawaZooを見学しました。

私はiZooを訪問するのは初めてでしたが、10年前に前身である伊豆アンディランドには行ったことがあります。当時はカメ専門の水族館ということで主にカメの仲間を飼育展示していたようです(パソコンに保存してあった前回訪問時の写真を見返してみるとカメの仲間しか写っていなかったので、おそらくカメ以外の動物は飼育していなかったのでしょうか)。私が訪問してから1年も経たないうちにアンディランドは閉館し、爬虫類専門の動物園としてリニューアルしたのです。今回の見学会は園長の白輪剛史さんのスペシャルガイド付きということもあって、希少な爬虫類の人工孵化について話を伺い、普段は入れない飼育施設内にも案内してもらえました。

iZooは決して広い動物園ではありませんが、飼育している爬虫類の数がとにかく多いので、1つ1つ見ていると結構体力を費やします。疲れるが、どうかを左右するのは面積の広さではなく、展示物(動物)の多さなのでしょうか?それでも爬虫類好きなら疲労よりも楽しみが優ることでしょう。

園の中央に位置するゾウガメ牧場には、国内に3頭しかいないガラパゴスゾウガメのうちの1頭が飼育されています。推定年齢130歳以上



ガラパゴスゾウガメ

とのこと。動物園のゾウもそうですが、長寿の動物はその園のシンボルとなり得る大きな存在です。このガラパゴスゾウガメもiZooの来園者・スタッフのみなさんの心のよりどころとして末永く元気でいてもらいたいものですね。

午後からはiZooから車で20分程のところにあるKawaZooを見学。KawaZooは2018年にオープンしたカエル専門の飼育展示施設です。幾重にも陳列された水槽に様々な種類のカエルが展示されています。どんな綺麗なカエルがいるのか期待を胸に水槽の中を覗くと……いない…こっちの水槽もない。肝心のカエルがどこかに隠れてしまっているのか全然見つからないのです。同行した皆様の「あ、ここにいるぞ!」という声を頼りに、ようやく発見できるという有様。カエルは基本的に夜行性で、日中は物陰に潜むのが習性のようなので。それでも姿を見せてくれたカエルたちを何枚かカメラに収めることができました(私の1番のお気に入りになったのはコバルトヤドクガエル。青色が好きなので)。動物を見ることができないと「何のために動物園に来たんだ」と不満を持たれる方も多いでしょう。でも私はKawaZooを見終えた時、満足感がありました。どこにいるのか目を凝らして探し見つけることが、フィールドで野生動物を発見した時の喜びに近いのかもしれない。「見やすい」「わかりやすい」だけが展示の良さではない。そんな事を考えるきっかけになった今回の見学会でした。